

当院において CV ポート留置下に胸部単純 X 線写真の撮影

を受けられた方およびそのご家族の方へ

— 「深層学習を用いて、胸部単純 X 線画像から 中心静脈ポートの種類を識別する研究」 へご協力をお願い—

研究機関名およびその長の氏名 岡山大学病院 前田 嘉信
研究責任者 岡山大学病院 放射線科 宗友一晃

1) 研究の背景および目的

中心静脈ポート(CV ポート)は、中心静脈という太い血管に留置したカテーテルと皮下に埋め込んだポートという器具を連結させ、栄養や薬剤を簡単に注入することができるデバイスです。抗癌剤や高い栄養を含む点滴などの投与に必要な点滴ルートを毎回確保する必要がなく、血管が細くなってしまった患者さんの治療の補助として使用されています。現在、様々な特徴を持った CV ポートが使用されていますが、製品ごとに管理の方法、造影 CT、MRI 等の検査への対応が異なり、患者さんが渡された「患者記録カード」なしにはその情報を得ることは困難です。

本研究では、ディープラーニングを用いて、胸部 X 線写真から留置された CV ポートの種類を識別することを目的としています。この研究により、患者記録カードなしに CV ポートの情報を得て、適正なポートの使用を促進できると考えています。

2) 研究対象者

2003 年月日～2022 年 12 月 31 日の間に岡山大学病院において胸部単純 X 線写真の撮影を受けられた方を研究対象とします。

3) 研究期間

研究機関の長の許可日～2027 年 3 月 31 日

4) 研究方法

当院において電子カルテ上に CV ポートが留置されている情報が含まれている方で、研究者が胸部単純 X 線写真をもとにデータを選び、ディープラーニングを用いて分析を行い、CV ポートの識別精度を調べます。

6) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別
- ・ 留置されている CV ポートの種類
- ・ 胸部単純 X 線写真のデータ

7) 外部への試料・情報の提供・共同利用の方法

この研究に使用する情報は、以下の共同研究機関に電子的配信により提供させていただきます。提供の際、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し、提供させていただきます。

熊本大学大学院先端科学研究部 医工学部門 医用福祉工学分野

8) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院放射線科医局内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

9) 研究資金と利益相反

この研究は研究者が所属する診療科の運営交付金を用いて行います。また、利益相反はなく、その点を利益相反マネジメント委員会に申告します。

10) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方（ご家族の方等も拒否を申し出ることが出来る場合があります。詳細については下記の連絡先にお問い合わせください。）にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・研究への利用を拒否する場合の連絡先>

岡山大学病院 放射線科

氏名：宗友 一晃

電話：086-235-7313（平日：9時～17時）

<研究組織>

主管機関名 岡山大学病院

研究代表者 岡山大学病院 放射線科 宗友一晃

共同研究機関

熊本大学大学院先端科学研究部 医工学部門 医用福祉工学分野 諸岡健一